



完成した観ばく台

県営の無料観ばく台が完成し、四月十一日午前十一時から、日光観光協会の主催で、県、市の関係者や地元の人たちによって落成式

が行われました。昭和五十一年一月に華嚴の滝左岸が崩れ、観ばく台付近の地盤も再崩壊の危険があったため立入禁

無料観ばく台が完成

すばらしい華嚴の滝の全容



華嚴の滝のすべてが見える

止となっていました。このため、県は、昭和五十二年から観ばく台付近の岩盤に直径一四メートルから二メートル、長さ十五メートルから二十メートルのコンクリート柱六本を打込む補強工事を行い、鉄筋コンクリート二階建の新観ばく台を新設しました。新観ばく台は、一階が百四十七㎡、二階が八十八㎡の広さで、これまでの観ばく台よりも数メートル高くなり雄大な華嚴の滝が見渡せるようになりました。ゴールデンウィークを間近に控え、地元観光業者や県、市では、「これで観光客に華嚴の滝を心ゆくまで見てもらえる。」と喜んで

自然公園法の 許認可申請 観光課が 窓口

これまで、環境庁日光国立公園事務所が扱っていた自然公園法に基づく許認可申請の窓口事務が、昭和五十五年五月一日から市観光課で取り扱うことになりました。これにより日光国立公園内特別地域、特別保護地域、普通地域内の各種行為の許認可申請書は市観光課で受け付けます。

ゴミの早朝収集

清潔な観光都市「グリーン日光」づくりのために「ゴミの早朝収集」を今年も五月一日から十月三十一日までおこないます。早朝収集を行う区域は、今までどおり国鉄駅から西参道までの国道沿いと、国鉄駅前から東武駅前それに山内の一部です。収集時間は午前七時三十分からで、収集日は同じです。

表紙のことは
表紙シリーズ
日光むかしがたり



点火をする市長

オランダ灯籠

東照宮陽明門前に、三基の洋風灯籠がある。

陽明門に向って右側の「蓮灯籠」と呼ばれる、高さ三・六尺、二十八の燭台をもつスタンダード形灯架は、寛永十七年(一六四〇)オランダから献上されたもの。左側手前奥の「釣灯籠」は、八角形の覆屋に納められた高さ二・三尺、三十の燭台がある釣り下げ式シヤンデリアで、家光公により東照宮造営の成った寛永十三年(一六三六)最初にオランダから献上されたもの。左側にあるもう一つは「廻転灯籠」と呼ばれ、北ドイツ風のバロック様式、二十一の燭台がある九角形の回転式灯籠で、寛永二十年(一六四三)に献上